

令和 | 年度 学術振興基金助成による成果報告書

令和 2年 1月 30日

学 長 殿

所属部局・職名 福島大学大学院

申 請 者 名 設楽晴海

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等運営・学会参加) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)
事 業 名	Asian Conference of Management Science & Applications2019 の参加
事業実施期間	令和 1年 8月 ～ 令和 1年 10月
成 果 の 概 要	<p>私は、この学会参加を通じ、日本とは異なる文化に触れる経験ができ、英語でコミュニケーション力の強化をすることができた。</p> <p>初めて中国に渡航し、学会に参加するなかで、お昼ご飯とパーティーは円卓を囲み、大量に料理が出てくる中国式の歓迎を受けた。すべて食べきれない量ではあるが、すべて食べてしまうことは失礼に当たることを知り、きれいにすべて食べたほうがよいとされる日本とは大きな違いがあることを知った。また冷たい飲み物が出ないことも特徴であると感じた。あとで調べたところからだを冷やすことはしない文化であることがわかった。このように、日本と中国では、距離は比較的近いものの、文化的には大きな違いがあることを知った。外国人労働者を受け入れた日本ではよりグローバル化がすすんでいくなかで、外国の人とよりよい関係を築くためには、相手の国の文化をよく知り、理解をしておかないと大きな誤解が生まれてしまうことを、経験を伴って理解することができた。</p> <p>自身の発表では、すべて英語でプレゼンテーションすることができ、途中でパソコンの電源が落ちるハプニングに見舞われたが、動揺することなく英語でコミュニケーションを取り、解決することができた。これは、きちんと発表練習を積んだことで、パニックにならなかったのではないかと考えた。事前の準備が大切なことを、再認識できた。また発表している人に、英語で質問することができ、ディスカッションすることができ、疑問に思ったことやその研究に対して深い理解ができた。</p> <p>このように日本とは異なる文化に触れる経験ができ、英語でコミュニケーション力の強化をすることができた。もっと異文化に触れ、理解していきたい。</p>